

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成29年1月19日 (2017.1.19)

【公開番号】特開2016-203628(P2016-203628A)

【公開日】平成28年12月8日 (2016.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-067

【出願番号】特願2016-81869(P2016-81869)

【国際特許分類】

**B 4 1 M 5/382 (2006.01)**

**B 4 1 M 5/50 (2006.01)**

**B 4 1 M 5/52 (2006.01)**

**B 4 1 M 5/40 (2006.01)**

**B 4 1 M 5/42 (2006.01)**

**B 4 1 M 5/41 (2006.01)**

**B 4 1 J 17/00 (2006.01)**

**B 3 2 B 7/06 (2006.01)**

**B 3 2 B 9/00 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 M 5/26 1 0 1 H

B 4 1 M 5/26 1 0 1 B

B 4 1 M 5/26 1 0 1 F

B 4 1 M 5/26 H

B 4 1 M 5/26 B

B 4 1 M 5/26 F

B 4 1 J 17/00

B 3 2 B 7/06

B 3 2 B 9/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月16日 (2016.11.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材上に転写層が設けられた熱転写シートであって、

前記転写層は、前記基材側から、受容層、中間層、隠蔽層がこの順で積層されてなる積層構成を呈しており、

前記中間層が、コロイド状無機粒子由来のアルミナ粒子、又はコロイド状無機粒子由来のシリカ粒子を含有していることを特徴とする熱転写シート。

【請求項 2】

前記中間層が、ウレタン系樹脂をさらに含有していることを特徴とする請求項 1 に記載の熱転写シート。

【請求項 3】

前記基材の同一面上に、前記転写層と、染料層積層体が面順次に設けられ、

前記染料層積層体は、前記基材側から、染料プライマー層、染料層がこの順で積層されてなる積層構成を呈しており、

前記染料プライマー層が、無機粒子を含有していることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の熱転写シート。

【請求項 4】

前記染料プライマー層が含有している無機粒子が、コロイド状無機粒子由来のアルミナ粒子、又はコロイド状無機粒子由来のシリカ粒子であることを特徴とする請求項 3 に記載の熱転写シート。

【請求項 5】

前記隠蔽層が、酸化チタンを含有していることを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の熱転写シート。

【請求項 6】

熱転写受像シートであって、  
基材上に、絵柄層、隠蔽層、中間層、第 1 受容層がこの順で設けられ、  
前記絵柄層の表面の一部は露出しており、  
前記中間層が、コロイド状無機粒子由来のアルミナ粒子、又はコロイド状無機粒子由来のシリカ粒子を含有していることを特徴とする熱転写受像シート。

【請求項 7】

前記絵柄層が、基材上から、ホログラム層と、第 2 受容層とが積層されてなる絵柄層であることを特徴とする請求項 6 に記載の熱転写受像シート。

【請求項 8】

熱転写受像シートであって、  
基材上に、絵柄層、隠蔽層、中間層、第 1 受容層がこの順で設けられ、  
前記絵柄層の表面の一部は露出しており、  
前記中間層が、無機粒子を含有しており、  
前記絵柄層が、基材上から、ホログラム層と、第 2 受容層とが積層されてなる絵柄層であることを特徴とする熱転写受像シート。

【請求項 9】

前記中間層が、ウレタン系樹脂をさらに含有していることを特徴とする請求項 6 乃至 8 の何れ 1 項に記載の熱転写受像シート。

【請求項 10】

前記隠蔽層が、酸化チタンを含有していることを特徴とする請求項 6 乃至 9 の何れか 1 項に記載の熱転写受像シート。

【請求項 11】

請求項 6 乃至 10 の何れか 1 項に記載の熱転写受像シートの前記第 1 受容層上に熱転写画像が形成されてなる印画物。

【請求項 12】

印画物の形成方法であって、  
絵柄層が設けられた被転写体を準備する被転写体準備工程と、  
基材の同一面上に、前記基材側から、受容層、コロイド状無機粒子由来のアルミナ粒子、又はコロイド状無機粒子由来のシリカ粒子を含有している中間層、隠蔽層がこの順で積層されてなる転写層と、前記基材側から、無機粒子を含有している染料プライマー層、染料層がこの順で積層されてなる染料層積層体と、が面順次に設けられた熱転写シートを準備する熱転写シート準備工程と、  
前記被転写体準備工程で準備された前記被転写体の前記絵柄層上に、前記熱転写シート準備工程で準備された熱転写シートの前記転写層を、前記絵柄層の表面の一部を露出させるようにして転写する工程と、  
前記熱転写シート準備工程で準備された熱転写シートの前記染料層積層体に含まれる前記染料層を用いて、前記絵柄層上に転写された前記転写層上に熱転写画像を形成する工程と、  
を含むことを特徴とする印画物の形成方法。

【請求項 13】

前記中間層が、ウレタン系樹脂をさらに含有していることを特徴とする請求項 1 2 に記載の印画物の形成方法。

【請求項 1 4】

前記染料プライマー層が含有している無機粒子が、コロイド状無機粒子由来のアルミナ粒子、又はコロイド状無機粒子由来のシリカ粒子であることを特徴とする請求項 1 2 又は 1 3 に記載の印画物の形成方法。

【請求項 1 5】

前記隠蔽層が、酸化チタンを含有していることを特徴とする請求項 1 2 乃至 1 4 の何れか 1 項に記載の印画物の形成方法。